【対応】

この組織評価は、平成 19 年度の活動を対象にした各組織の平成 20 年度評価である。学部・研究科の評価と「学生部」及び 3 センターの評価から構成されている。学部・研究科の評価では、過去 2 年間の実績と比較し、また他の学部や研究科と比較すれば、客観的な数字の上で、おのずと平成 20 年度評価ができるようになっている。教員評価の教員回答を一部用いている。「学生部」及び 3 センターの評価は昨年度にはじまり今年で 2 年目でありなお改善中の試行期間になっている。定性的な活動内容が中心である。一部学生満足調査を用いている。

問題点については、宮城大学評価委員会で学長から 1 つ 1 つ数字を見ながら指摘し改善を促している。その中で特に問題となる点については、学長と当該の学部長または研究科長・センター長等とが改善策について協議することになっているが、今回は、看護師・保健師国家試験合格率が、100%ではなかったので、その点については学長が学部責任者と対策を含めて協議した。